


平成30年度 都立学校・学校経営シート

校章	 都立赤羽商業高等学校 全日課程		進路	実績	10%	短期大学	1%	専門学校	20%	就職	66%	その他	3%	
	『チャレンジ赤商2018』 【資格の赤商・部活の赤商・ボランティアの赤商】		特徴	青少年赤十字学校加盟、インターンシップ2年次生全員参加(国際ロータリーとの連携による)										
基	所在地		〒115-0056 北区西が丘三丁目14番20号		電話番号	03-3900-0251								
	アクセス		(1) JR京浜東北・埼京線赤羽駅下車国際興業バス王子行(10分)赤羽商業高校下車 (2) 地下鉄都営三田線本蓮沼駅下車徒歩10分 (3) 東武東上線ときわ台駅下車国際興業バス赤羽行(20分)赤羽商業高校下車											
本	学 科		商業科											
	在 校 生 数		355人(男子125人、女子230人)											
情	教育課程の特徴		1年次の商業の基礎的基本的な学習と、2年次からの多様な商業科目の学習を通して、各自の興味関心に応じた専門的な知識と技能を身につけることができる。											
	ホームページ		http://www.akabaneshogyo-h.metro.tokyo.jp/		自律経営推進予算 30年度(単位:万円)	2,088								
報	そ の 他		ボランティア活動推進校、パワーアップハイスクール指定校	校 服	制服	男子・ブレザー(紺) 女子・ブレザー(紺)								
	募集人員		募集停止											
本	入 学 者 選 抜 情 報		28年度入学生	推薦	男女	2.52	29年度入学生	推薦	男女	2.10	30年度入学生	推薦	男女	—
	学 力 検 査	男女			1.20	学 力 検 査			男女	1.11			学 力 検 査	男女
その 他 の 特 徴		商業高校としての本校の特長を良く理解し明確な目的意識をもつ生徒の入学を期待する。												
主な学校行事		4月修学旅行(3年) 6月体育祭 10月文化祭 2月インターンシップ(2年) 3月球技大会ほか												

目指す学校 生徒がいきいきと学び、資格を取得するとともに、心身逞しく成長して、就職・進学など進路実現できる学校。地域から評価され好感を持たれる学校。

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価	
目 標 ①	規範意識向上、こころの育成 ・継続して取り組んでいる規範意識の醸成を強化し、頭髪、身嗜み、遅刻指導、授業規律の徹底を図る。 ・セーフティ教室や奉仕体験活動の充実を図り、思いやりの心、命の大切さ、自助共助、地域貢献の意識を身に付けさせる。	・毎朝の正門指導、全教員による巡回・昼の立ち番、集会ごとの身だしなみチェック、生徒会による挨拶運動、遅刻ゼロ週間により生活指導の強化により全体的に落ち着いている。しかし、遅刻者は残念ながら昨年度比1.01倍とわずかに増加した。生徒の自覚を促し遅刻減少を目指す。地域と連携した防災訓練(3月)等を行った。自転車での大きな事故はなかった。雨天での自転車乗車時の傘さし運転の防止、自転車乗車時のイヤホン利用禁止の徹底を図る。授業規律では授業遅刻、教材準備の遅れ、居眠り等について引き続き粘り強く取り組む。・インターネット関係の非行防止、金融教室、薬物乱用防止教室、セーフティ教室、消費者教育、健康教室等を実施した。ボランティアサミットへの企画・運営に対して教育委員会表彰を受ける。	
目 標 ②	学力向上、進路実現 ・教科会を機能させ、学習目標に基づき、アクティブ・ラーニング等の創意工夫ある授業に取り組み、生徒の学習意欲を喚起し基礎学力の定着と学力向上を図り、中途退学者を減少させる。 ・資格取得を奨励する。 ・進路指導計画に基づきガイダンス機能を強化して、進路希望の実現を図る。	・ICT機器の利用(20名以上)、アクティブ・ラーニングの実践(20名以上)、課題研究や選択授業の成果発表(10月、文化祭)を実施。また、学習成果発表会を1月に実施し好評であった。教育相談委員会の活用、生徒に応じた補習を教科、学年、授業担当者が組織的に行い試験対策等を実施した。また、資格取得のため商業科・学年が組織的に補習・補講に取り組み、3年生で1級3種目以上の合格者を出し、2・3年生合わせて39名が1級に合格した。・2年生では全員参加のインターンシップと総合学習で進路意識を定着させた。3年生では、進路指導部による全員面接実施、就職希望者面接指導(ハローワーク、北区等含めて)を実施し、学校幹旋就職希望者内定率100%、進路決定率92%を達成した。進路実現のためきめ細かい進路指導を継続する。	
目 標 ③	部活動推進、オリンピック・パラリンピック教育推進 ・パワーアップハイスクール指定校として、部活動・体育授業の充実を図り、生徒全体の体力向上に取り組み、地域イベントへの参加を拡充する。 ・帰属意識を高め誇りと自信をもたせ地域から愛される学校づくりを行う。	・パワーアップハイスクール指定校として体幹トレーニングの講師を迎え、2学年全員を対象に体育の授業時間を使って自重を使ったトレーニング及びチューブトレーニングを実施するなど生徒全体の体力向上と部活動の活性化と部員定着を図った。部活動は3年生の引退後部員数の減少がありチームを維持することが難しくなっているが、最後の1年を学校をあげて再入部を図っていく。・オリンピック・パラリンピック教育に学校を上げて取り組み、2・3年生で70時間以上の授業を実施した。ボランティアの日に、客室乗務員を迎えて障害のある方、外国人の方への対応講座を実施し、障害のある方、外国の方へのマナーの大切さなどを学んだ。・体育祭、文化祭、球技大会等の学校行事を活用し生徒の自主性を育んだ。次年度最後の学年として成功体験を積み上げる。	

数 値 目 標	今年度の数値目標の内容	27年度		28年度		29年度		今年度		31年度	32年度	33年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	検定試験合格 3級3種目以上90% (2級2種目以上:50%以上)	80	74	80	61	95	60	95	(29)	95	—	—
目標②	卒業時進路決定率90%	93	94	94	95	95	97	95	93	95	—	—
目標③	部活動都大会ベスト32以上の活躍を3部以上	3	2	3	2	3	0	3	0	3	—	—